

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】令和3年7月26日(2021.7.26)

【公開番号】特開2021-50218(P2021-50218A)

【公開日】令和3年4月1日(2021.4.1)

【年通号数】公開・登録公報2021-016

【出願番号】特願2020-200158(P2020-200158)

【国際特許分類】

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 P 9/00 (2006.01)

A 6 1 K 31/506 (2006.01)

C 1 2 N 15/13 (2006.01)

C 1 2 N 15/113 (2010.01)

【F I】

A 6 1 K 45/00 Z N A

A 6 1 P 9/00

A 6 1 K 31/506

C 1 2 N 15/13

C 1 2 N 15/113 Z

【手続補正書】

【提出日】令和3年6月10日(2021.6.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

対象における異常なタンパク質チロシンリン酸化を有している心血管の疾患または病態を治療するための薬学的組成物であって、低投与量のチロシンキナーゼ阻害剤を含み、該チロシンキナーゼ阻害剤が、チロシンリン酸化の異常なレベルを低下させ、かつ該対象の少なくとも1つの心機能を改善し、該低投与量が、該チロシンキナーゼ阻害剤の化学療法投与量の約175分の1～約250分の1の範囲であり、対象における異常なタンパク質チロシンリン酸化を有している心血管の疾患または病態が、神経線維腫症1型、ヌーナン症候群、多発性黒子を伴うヌーナン症候群(レオパード症候群)、毛細血管奇形-動静脈奇形症候群、コステロ症候群、心臓-顔-皮膚症候群、およびレギウス症候群からなる群より選択されるRASオパシーに関連している心血管の疾患または病態である、薬学的組成物。

【請求項2】

心血管の疾患または病態が先天性心疾患である、請求項1に記載の薬学的組成物。

【請求項3】

心機能が、筋原線維の組織化、心筋細胞の収縮性、SERCA2A発現、および心臓の線維化からなる群より選択される、請求項1に記載の薬学的組成物。

【請求項4】

チロシンキナーゼ阻害剤が、アファチニブ、アキシチニブ、ボスチニブ、カボザンチニブ、セジラニブ、セリチニブ、クリゾチニブ、ダブラフェニブ、ダサチニブ、エルロチニブ、エベロリムス、ゲフィチニブ、イブルチニブ、イマチニブ、ラバチニブ、レンバチニブ、レスタウルチニブ、ニロチニブ、ニンテダニブ、パルボシクリブ、パゾパニブ、ポナチニブ、レゴラフェニブ、ルキソリチニブ、セマナンイブ(semananib)、シロリムス、ソラ

フェニブ、スニチニブ、テムシロリムス、トファシチニブ、トラメチニブ、バンデタニブ、およびベムラフェニブからなる群より選択される、請求項1に記載の薬学的組成物。

【請求項5】

チロシンキナーゼ阻害剤がSrcファミリーチロシンキナーゼ阻害剤である、請求項1に記載の薬学的組成物。

【請求項6】

Srcファミリーチロシンキナーゼ阻害剤が、A419259、AP23451、AP23464、AP23485、AP23588、AZD0424、AZM475271、BMS354825、CGP77675、CU201、ENMD2076、KB SRC 4、KX2361、KX2-391、MLR 1023、MNS、PCI-32765、PD166285、PD180970、PKC-412、PKI166、PP1、PP2、SRN 004、SU6656、TC-S7003、TG100435、TG100948、TX-1123、VAL 201、WH-4-023、XL 228、アルテヌシン、ボスチニブ、ダムナカンタール、ダサチニブ、ハービマイシンA、インジルビン、ネラチニブ、ラベンダスチンA、ペリチニブ、ピセアタンノール、サラカチニブ、SrcI1、およびそれらの類似体からなる群より選択される、請求項5に記載の薬学的組成物。

【請求項7】

対象が小児科患者である、請求項1に記載の薬学的組成物。

【請求項8】

小児科対象が12才未満である、請求項7に記載の薬学的組成物。

【請求項9】

対象が18才より年上である、請求項1に記載の薬学的組成物。

【請求項10】

チロシンリン酸化の異常なレベルが、チロシンリン酸化タンパク質ゼロ関連(PZR)の異常なレベルを含む、請求項1に記載の薬学的組成物。

【請求項11】

低投与量のチロシンキナーゼ阻害剤が、PZRチロシンリン酸化を減少させる、請求項10に記載の薬学的組成物。

【請求項12】

低投与量のチロシンキナーゼ阻害剤が、心臓組織における抗線維化効果を対象にもたらす、請求項1に記載の薬学的組成物。